

令和8年8月7日

門川町議会議長 様

(3 番) 門川町議会議員 寺田 泰隆 印

一 般 質 問 通 告 に つ い て

令和8年門川町議会第3回定例会において、下記のとおり質問いたしたいので会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

受 付	8 月 7 日 午後 2 時 2 0 分	N o . 8
--------	----------------------	---------

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
門川町の教育課題と魅力ある学校づくりについて	子供たちを取り巻く環境は、社会の変化とともに大きく変化しています。そのため、学校教育も時代に応じた柔軟な対応が求められています。一方で、門川町の学校につきましては、「学校へ行きたくない」「安心して学べる環境が十分ではない」といった声や、町外からも教育環境について厳しい意見を耳にすることがあります。学校現場だけで解決することが難しい課題も増えている中、教育は町の将来を左右する最も重要な施策の一つであり、学校・家庭・地域・行政が一体となって取り組む必要があると考えます。 そこで、門川町として現在の教育課題をどの様に認識し、今後どのような学校作りを目指していくのか。また、誰もが門川町の学校に通わせたいと思える魅力ある学校づくりに向けた具体的な取り組みについて伺います。 教育は、子どもたち一人ひとりの未来だけでなく、門川町の未来を支える礎です。誰もが門川町の学校に通わせたいと思える魅力ある学校づくりにつながる前向きなご答弁を期待し、以上、質問いたします。	教育長

門川町の神話・歴史・伝承・自然資源の活用について	1. 現在、町内各学校の課題をどのような方法で把握しているのか。 2. 現在把握している主な教育課題は何か。 3. その課題について、教育委員会や学校とどのような検討・協議を行ってきたのか。 4. 課題解決に向け、門川町として現在取り組んでいる具体的な施策は何か。 5. 今後、「門川町だからこそ受けられる教育」や、「子どもを門川町の学校へ通わせたい」と思われる魅力ある学校づくりを、どのように進めていく考えか。 門川町には、五十鈴川、枇榔島、乙島、加草神社をはじめとする神社仏閣など、神話や歴史、伝承、豊かな自然など、先人から受け継がれてきた数多くの貴重な地域資源があります。 しかし、それらは個別に語り継がれているものが多く、その由来や歴史的背景、文化的価値について体系的な調査・整理・情報発信は十分とは言えないように感じています。 これらは門川町の歴史や文化を物語る大切な財産であり、郷土学習や観光振興、さらには地域への誇りや愛着を育む上でも大きな価値を持つものと考えます。 また、調査を進めることで、新たな史実や伝承が明らかとなり、門川町の新たな魅力の発見につながることも期待されます。まだ知られていない歴史や物語が数多く眠っている可能性もあります。 こうした町の宝を掘り起こし、未来へつないでいくことは、門川町の魅力をさらに高めることにもつながると考えます。そこで、町として、これらの地域資源をどのように調査し、教育や観光、まちづくりへ活用していく考えなのか伺います。	町長
---------------------------------	--	-----------